令和８年８月２６日

学生の皆さんへ

日本大学

【重要】令和８年熊本地震及び令和８年８月千葉豪雨に伴う
災害ボランティア参加における手続きと注意事項について

現在，夏季休暇（夏休み）を利用して，被災地でのボランティア活動を検討している学生の皆さんからの問合せが増えています。

被災地でのボランティア活動は極めて貴重な社会的貢献となる一方，事前の準備や正しい情報がないまま現地へ向かうと，現地での混乱を招いたり，二次災害に巻き込まれたりする恐れがあります。本学では，学生の皆さんの安全確保と，被災地への適切な配慮の両立を目指し，ボランティア活動への参加にあたって以下の手順の徹底と注意事項の遵守を必須としています。活動を希望する方は，必ず出発前に所定の手続きを行ってください。

記

１　参加にあたっての手続きについて

ボランティア活動に参加する際は，必ず以下の手続きを行ってください。

①　現地社会福祉協議会等の「事前登録」と最新情報の確認

多くの自治体や社会福祉協議会（社協）では，混雑緩和や安全確保のため，ボランティアの「事前登録制（事前募集制）」をとっています。連絡なしに直接現地へ行くことは絶対に行わないでください。また，受け入れ状況や対象地域（県内限定など）は日々変化するため，必ず現地の最新情報を確認してください。

（１）熊本県災害ボランティア情報（熊本県社会福祉協議会ＨＰ）
https://www.fukushi-kumamoto.or.jp/kvc/

（２）千葉災害ボランティア情報（千葉県社会福祉協議会ＨＰ）
https://www.saigai-chiba.com/

【各サイトへのアクセス（二次元コード)】

熊本県災害ボランティア情報　　千葉災害ボランティア情報

② 「ボランティア活動保険」への加入

活動中のケガや第三者への賠償事故に備え，出発前（被災地に向かう前）に，皆さんの居住地の社会福祉協議会等で必ず天災の場合でも適用される「ボランティア活動保険」に加入してください。被災地現地の社協での加入は，現地の事務負担を増大させる恐れがあるため慎んでください。

③ 保証人（保護者）の同意取得

安全確保の観点から，参加にあたっては必ず保証人（保護者）へ相談し，十分な理解を得た上で参加してください（自治体によっては同意書等が必要となる場合もあります)。

④ 大学への届出

サークル等の課外活動としてボランティアを行う場合は，万が一の災害や事故が発生した際の安否確認のため，必ず事前に「行事届」を学生課又は教学サポート課に提出してください。

２ 現地での行動と安全管理・自己完結の徹底

① 「自己完結」の徹底（被災地に負担をかけない)

現地は物資やインフラが不足しています。ボランティア活動に必要な装備（安全靴，長袖・長ズボン，ヘルメット，防塵マスク等）をはじめ，予備も含めた食料・飲料水，往復の移動交通手段及び宿泊先（テントや車中泊含む）は，全て自身で事前に手配・持参してください。

② 人命救助・インフラ復旧の優先と配慮ある行動

消防・警察・自衛隊等による救助活動やインフラ復旧が最優先です。被災地の復旧作業の妨げや迷惑，動線の遮断にならないよう，常に周囲への配慮を怠らないでください。

③ 現地の指示・ルールの遵守と単独行動の禁止

現地ボランティアセンターや自治体スタッフの指示には必ず従ってください。単独行動は危険ですので避け，割り振られた指定の活動範囲・内容を厳守してください。

④ 熱中症対策と徹底した体調管理

現地では厳しい暑さが続いています。こまめな水分・塩分補給，適度な日陰での休憩など，熱中症対策を万全にしてください。決して無理をせず，体調に異変を感じたら活動を中断して周囲に申し出てください。

⑤ 被災者への心情的配慮とＳＮＳ投稿の制限

被災された方々は甚大な精神的ショックを受けています。プライバシーに十分配慮し，マナーある行動と言葉遣いでボランティアに参加してください。また，被災地や被災者の写真・動画を本人の許可なく撮影すること，それらをＳＮＳ（X，Instagram 等）に投稿することは，トラブルや人権侵害に繋がるため慎んでください。

３　ボランティア参加の流れ（チェックリスト）

□　最新情報の確認
□　現地社会福祉協議会等の「事前登録」
□　「ボランティア活動保険」への加入
□　保証人（保護者）の同意取得
□　大学への届出（サークル等の課外活動としてボランティアを行う場合）
□　必要な装備及び予備の準備

以　　上

【本件に関する問い合わせ先】
日本大学ボランティア活動推進センター
（日本大学本部学生部学生課内）

Mail　adm.nuvc@nihon-u.ac.jp